

5月～6月が流行シーズン

手洗い・うがいで

ようれんきんかんせんしょう

溶連菌感染症を

予防しよう！

手洗い

うがい

溶連菌(ようれんきん)？

「溶連菌」＝「溶血性連鎖球菌」の略で、聞きなれない菌の名前ですが、ウイルスによるかぜとは違い、菌の侵入する部位によって、咽頭（いんとう）炎、とびひ、中耳炎、肺炎など様々な病気の原因になります。

9歳までのこどもに多く発症し、まれに重症化し、急性腎炎等を起こすこともありますので、気になる症状があれば早めに医療機関を受診し、医師の指示に従い、最後まで治療しましょう。

患者と接触することにより感染しますので、予防方法は「手洗い」「うがい」です。

5月から6月にかけて流行しますので、しっかり予防しましょう。

◆ 代表的な症状 ◆

(突然の高熱)



(いちご舌・
のどの痛み)

(発疹)



京都市 平成30年5月号



「京都市こどもの感染症」ホームページ

◆ 感染症に関するお問合せ

京都市保健福祉局 健康安全課
(TEL: 075-222-4244 FAX: 075-222-4062)

◆ 発行元 京都市衛生環境研究所 管理課
(TEL: 075-312-4942 FAX: 075-311-3232)

※「京都市こどもの感染症」は衛生環境研究所
ホームページからも御覧になれます。